

第七十六回帝國議會
衆議院

借地法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八三號)
借家法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八四號)
刑法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八七號)

會議

昭和十六年二月二十一日(金曜日)午前十時
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事江原 三郎君

理事庄司 一郎君 理事山本 条吉君

青木 作雄君 菊地養之輔君

津倉 龜作君 中野 治介君

野口 喜一君 朴 春 琴君

眞鍋 儀十君 松永 東君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 三宅正太郎君

司法省民事局長 坂野 千里君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

借家法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

刑法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○江原委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キマス、
借地法中改正法律案、借家法中改正法律案、
刑法中改正法律案ニ對シ、ソレト政府委員
ヨリ提案理由ノ説明ヲ求メマス

○三宅政府委員 先ヅ借地法中改正法律案
及ビ借家法中改正法律案ニ付キマシテ、提
案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、借地法及ビ
借家法ハ御承知ノ通り大正十年ニ制定セラ
レ、當初ハ六大都市及ビ其ノ隣接町村ニ施
行セラレタノデアリマシタガ、其ノ後數回

其ノ施行地區ヲ擴張シ、現在デハ三府八縣
竝ニ全國主要都市ノ大部分ニ施行セラレテ
居リマシテ、政府ト致シマシテハ、近ク之
ヲ全國ニ實施スル豫定ヲ立テテ居リマス、
而シテ借地法及ビ借家法制定ノ趣旨ハ住宅
問題ガ國民、殊ニ都市生活者ニ極メテ重要
ナル問題ニシテ、之ヲ一般民法ノ規定ニ任
スコトハ、甚ダシク失當ナル場合ガ少クナ
イ點ニ鑑ミ、借家關係ヲ調整セントシタノ
ニ外ナラナイノデアリマシテ、此ノ法律ニ
依リ從前民法ノ規定ノミニ依リ解決シテ來
マシタ借地借家關係ハ、圓滿ニ處理セラル
ルニ至リ、當初ハ現行ノ借地法及ビ借家法
ノ規定ヲ以テ、必要ニシテ且ツ十分デアッ
タト云フテ宜シイノデアリマス、所ガ土地
及ビ建物ノ價格ガ昂騰シ、借地借家ガ拂底
ヲ告グルニ至リマシタ爲メ、借地ニ付テ申
シマス、地主ノ中ニハ其ノ土地ヲ他ニ利
用スル必要カラ、契約ノ更新ヲ承諾シナイ
ト云フヤウナモノモ出テ參リ、隨テ借地人
ハ建物ヲ他ニ移轉スルカ、或ハ地主ニ買取
ヲ求メルヨリ外ニ途ガナイト云フ事態ヲ生
ジ、又借家ニ付テ申シマス、家主ノ中ニ
ハ或ハ期間満了ノ際契約ノ更新ヲ拒絶シ、
或ハ契約ノ申入ヲナシテ借家人ニ明渡シヲ
求メ、其ノ建物ヲ他ニ有利ニ利用スルト云
フ傾向ガ、少カラズ現ハレテ來タノデアリ
マス、斯様ナ傾向ハ資材ノ不足ト、毀販產
業ノ勃興ニ原因シ、借地借家ノ拂底其ノ極
ニ達シマシタ關係上、事變以來一層度ヲ加

ヘテ參リ、大キナ社會問題ト相成ツタノデア
リマス、勿論借地借家ノ總數ヨリ申セバ、
其ノ數ハ極メテ少數ノモノデハアリマセウガ、
住宅問題ハ國民ノ重要ナル問題デアリマス
カラ、之ヲ傍觀スルヲ得ナイノデアリマス、
從來此ノ弊害ハ裁判所ニ於キマシテ、調停
ニ依リ解決シテ來タノデアリマスガ、最早
調停ノミニ依ツテハ、到底解決スルコトガ
出來ナイヤウナ狀況ニ相成リマシタ、此ノ
故ニ今回借地法及ビ借家法ヲ改正シマシテ、
其ノ弊害ヲ防止シタイト存ズルノデアリマ
ス、即チ地主又ハ家主ハ自ら使用スルコト
ヲ必要トスル場合、其ノ他正當ノ事由アル
場合デナケレバ、契約ノ更新ヲ拒ミ、又ハ
解約ノ申入ヲナスコトヲ得ナイモノトシ
テ、何等債務不履行ナキ借地人ヤ、借家人
ヲ保護スルコトト致シ、又建物賃貸借ノ解
約ノ申入レニハ、六月間ノ猶豫期間ガアル
譯デアリマスカラ、是ト一致セシムル趣旨
ヲ以テ、當事者ガ期間ヲ定メタ場合ニハ、
期間満了ニ當リ一定ノ期間内ニ、更新拒絶
ノ通知ヲナサシムルコトトシタノデアリマ
ス、是ガ本改正案ノ主要點デアリマシテ、
此ノ外ニ之ニ關聯シテ二、三ノ條文ヲ整理
シ、且ツ必要ナル經過規定ヲ設ケタノデア
リマス

尙ホ最後ニ一言申上ゲテ置キタイコトガ
ゴザイマス、ソレハ本改正案ハ、借地人又ハ借
家人ニ賃料ノ不拂等ノ債務不履行アル場合
ニ、地主ヤ家主ガ之ヲ理由ニ契約解除等ノ手
段ヲ講ズルコトヲ制限スル趣旨デハアリマセ
ス、是ハ從來通り民法ノ規定ニ依リ處理サレ
ルノデアリ、此ノ改正案ノ爲メ國民ノ債務履
行ノ誠意ヲ弛緩サスト云フヤウナ弊害ハ、
絕對ニゴザイマセス、本改正案ハ何處マデ
モ借地、借家ノ現狀ヲ調整スルニアルノデ
アリマシテ、善良ナル地主、家主ヲ抑制ス
ル趣旨デモナク、又惡質ナル借地人ヤ借家
人ヲ保護スル趣旨デモアリマセス、此ノ法
案ガ公布セラレタ曉ニハ借地借家關係ノ圓
滿ナル解決ニ資スル所ガ少クナイト信ズル
次第デアリマス

次ニ刑法中改正法律案ノ提案理由ヲ御説
明申上ゲマス、現行刑法ハ明治四十一年ノ
施行ニ係リ、其ノ後僅カニ一回一箇條ノ改
正ガ行ハレタノミデ、今日ニ至ツテ居ルノ
デアリマス、此ノ間政府ハ大正十年十月臨
時法制審議會ニ對シ、刑法改正ノ必要アリ
ヤ否ヤニ付テ諮問致シマシタ所ガ、大正十
五年十一月、同會ヨリ人心ノ趨向、犯罪ノ
情勢ニ鑑ミ刑法ハ之ヲ改正スルノ要アリト
シ、改正ノ綱領四十項目ト共ニ答申ガアリ
マシタ、ソコデ昭和二年一月、司法省ハ省
内ニ刑法改正原案起草委員會ヲ設ケ、同年
三月同委員會ハ、刑法豫備草案ノ起草ヲ終
リマシタ、仍テ同年六月一流ノ學者、實務
家ヲ委員トシテ、刑法改正起草委員會ヲ設
ケ、豫備草案ヲ原案トシテ審議ニ入り、其
ノ後昨年三月マデノ間繼續シテ總會及ビ委
員會ヲ開催シ、漸クニシテ假案程度ノモノ

ヲ得、同年四月之ヲ公表致シタノデアリマス、併シ是ハ未ダ假案程度デアリマシテ、其ノ後モ委員會ノ審議ハ繼續セラレテ居リマシタガ、刑法ハ直接國民ノ日常生活ニ關係ヲ有スル重大法典デアリマスカラ、各委員共非常ニ熱心ニ研究討論セラレ、殊ニ共犯、未遂等刑法總則ノ根本理論ニ關スル部分ニ付テハ、遠カニ成案ヲ得難キ感サエ見エタノデアリマス、偶、昨年十月政府ニ於テハ各種委員會ヲ整理スルコトナリ、此ノ委員會モ亦一時廢止ノ已ムナキニ至リ、遂ニ委員會ハ審議ヲ終了スルニ至ラズ、隨テ又答申モナイノデアリマス、右申述ベマスヤウナ經過デアリ、又現下内外ノ情勢カラ見テ、刑法ノ全部改正案ヲ今議會ニ提案スルコトハ出來ナカツタノデアリマスカ、現行刑法ハ先ニモ申述ベマシタ通り、施行後三十有餘年ヲ經過シ、其ノ後ノ人心ノ趨勢、犯罪ノ情勢等ニ鑑ミ、殊ニ戰時下ニ於ケル社會ノ實情ニ鑑ミマシテ、是非共改正ヲ要スル部分ノ改正ヲ行ヒ、以テ治安ヲ確保シ、國防國家體制ノ完備ヲ期スル必要ガアリマスノデ、一部改正ノ案ヲ作りマシテ、御審議ヲ願フコト致シタノデアリマス

以下法案ノ内容ニ付キ申述ベマスト、第一總則第十八條ヲ改正シ、罰金不完納ノ場合ニ於ケル勞務留置ノ期間ヲ延長シタルコトデアリマス、最近各種ノ法令ニ規定セラルル罰金刑ガ一般ニ高クナリ、隨テ裁判所ノ言渡ス罰金刑モ高クナツタノデアリマス、ソコデ罰金不完納ノ場合ノ勞務留置期間モ、亦延長スル必要ガアルノデアリマス、第二ハ、沒收ノ規定ヲ改正シ、追徴ノ規定ヲ新設シタルコトデアリマスカ、犯罪ニ因ツテ得タ不法ノ利益ヲ、犯人ノ手ニ殘

サナイト云フ趣旨カラ、此ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、第三ニ、公ノ競賣入札ノ公正ヲ圖ル爲メ、竝ニ強制執行ヲ免ルル行爲ヲ、處罰スベキ規定ヲ設ケタルコトデアリマス、所謂談合行爲ハ、詐欺其ノ他現行法ヲ以テ處罰スルコトヲ得ルヤ否ヤハ、説ガ分レテ居ルノデアリマス、併シ是等ノ行爲ガ公正ニ行ハレマセスト、例ヘバ官公署ノ工事ノ入札等ノ場合ニ、是ガ公正ニ行ハレナイ處ガアリマスカ、特ニ規定ヲ設ケントスル趣旨デアリマス、又民事ノ裁判ガ如何ニ適正ニ行ハレマシテモ、其ノ執行ガ確保セラレナイナラバ、裁判ハ實質上其ノ效果ヲ舉グルコトヲ得マセズデ、裁判ノ威信ニモ關スルノデアリマス、隨デ此ノ法案ニ於キマシテハ、強制執行ヲ免ルル行爲ヲ處罰スルコト云フ規定ヲ設ケタルデアリマシテ、是ハ正シイ權利者ノ保護ヲ全ウスル爲ニ、多年要望セラレタ所ノ改正デアリマス、第四ハ人心ノ惑亂、經濟上ノ混亂ヲ誘發スル行爲ヲ、防止スル規定ヲ設ケタルデアリマス、是ハ時局ニ鑑ミ最モ必要ナル事柄ノ一ツト考ヘマスガ、從來ハ此ノ點ニ關スル法規ガ、不備タルヲ免レナカツタノデアリマス、仍テ今回外國ト通謀シ、又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テスル場合ノ規定ハ、國防保安法案ノ中ニ規定シ、其ノ他ノ場合ヲ本法案中ニ規定致シタルデアリマス、兩者相俟ツテ治安ヲ確保ヲ期スル所デアリマス、第五ハ、失火罪ノ刑ヲ加重シタルコトデアリマス、從來カラ失火罪ノ刑ハ輕キニ失スルト稱セラレテ居タルデアリマスガ、現下ノ經濟狀態ニ鑑ミマシテ、益々其ノ感ヲ深クスル次第デアリマスカ、此ノ改正ヲ行ハントスル次第デアリマス、

第六ハ、公正證書原本不實記載ノ罪ノ刑ヲ、加重シタルコトデアリマス、從來カラ本條ノ刑ハ輕キニ失スルト稱セラレテ居タルデアリマスガ、戰時下ニ於テ臨時資金調整法ニ依ツテ會社ノ新設、擴張等ガ制限セラレマシタ結果、登記簿上ニ徒ラニ殘存シテ居ル所ノ會社ノ商號、其ノ他ノ事項ニ付キ、不實ノ變更登記ヲ致シマシテ、實質ノ備ハラザル會社ヲ恰モ軍需會社、其ノ他ノ有望ナル會社ナルガ如クニ裝ヒマシテ、不法ナ利益ヲ圖ル犯罪ガ現ハレテ來タルデアリマス、隨デ此ノ改正ヲ行ハントスル次第デアリマス、第七ハ、贈收賄ノ規定ヲ整備シタルコトデアリマス、公務員ノ廉潔ヲ確保シ、官紀ノ振肅ヲ圖ルコトハ、何時ノ時代ニ於テモ必要ナル事柄デアリマスカ、現在ノヤウニ經濟統制ノ行ハレテ居リマス時代ニハ、特ニ其ノ必要ヲ痛感スルノデアリマス、第八ハ、其ノ他右第一乃至第七ノ改正ニ伴ヒ、關係條文ヲ整理致シタルコトデアリマス、以上ノ點ガ即チ刑法中改正法律案ノ改正ノ要項デアリマス、何卒各法案ニ付キマシテ、慎重ニ御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ、希望致ス次第デアリマス

○江原委員長代理 本日ハ此ノ程度ニ致シテ、明日ヨリ、借地、借家兩改正法案ニ付テノ質疑ヲ續行シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○江原委員長代理 御異議ガナイヤウデアリマスカ、明日ハ午後一時ヨリ開會致スコト致シマシテ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十時四十分散會